

設 計

症例 1 - 1

医院御中

患者名 様

(設計図)



残存歯牙

上顎 2 3 4 5 6 7

下顎 3 2 1 1 2 3 4 5

上、下顎ともにペリオが進行し、歯牙と骨の関係が厳しい状態と認識しています。患者さんに口腔の健康を意識させ、フルデンチャーにならない対策を講じていくことが望ましいと思います。

①ペリオの進行を止め、歯牙の動揺を抑える。

A 歯石除去、口腔衛生指導、による歯肉の健康を取り戻す〔長期治療に〕

B 仮り義歯によるバイトの確保

〔抜歯を含めた咬合改善をはかる〕

C 口腔衛生環境が改善したところで補綴処置を始める。

以上の状態から設計を考えました。

上顎

1 歯冠切除、根治＝根面板又はO-ring、磁石〔維持歯として利用〕

5 抜歯

7 歯冠切除、根治＝根面板又はO-ring、磁石〔維持歯として利用〕

②③④⑤⑥⑦はCrブリッジ（連結固定）

下顎

6 歯冠切除、根治＝根面板〔維持装置は無し〕

⑤④③ Cr（連結固定）

パーシャルデンチャー設計において、レスト、クラスプの活用

平成 年 月 日 作成
有限会社SKデンタルラボ
担当技士